

## 「チャレンジ支援委員会」

# 2021年度春季大会報告

## 「わかばさんいらっしやい」第1日目 12:00-13:00

担当：吹原豊・家根橋伸子・黒田史彦・中山英治・大嶋智規・松本明香・劉志偉

「わかばさんいらっしやい」は本大会1日目の12時に開始しました。前回に引き続き今回もオンライン開催ということで、事前に「わかばさんいらっしやい」動画を配信し、わかばさんたちにはその動画を視聴した上で、当日Zoom上に集まっていただきました。動画では、大会の参加の仕方、楽しみ方を中心にお伝えし、わかばさんたちが迷うことなく大会に参加できるように心がけました。多くの方に視聴していただき、初めて大会に参加するわかばさんの手引きになったのではないかと思います。



当日のわかばさんの参加は、前回から大幅に増え、計15名でした。前半は動画の振り返りを行いました。そして後半はZoomのブレイクアウツの機能を用い、3-4名のわかばさんと委員1-3名のグループに分かれて、一人一人の教育実践や研究活動についてお話いただく「交流会」を行いました。すでに現場で教育実践をされている方、まだ教育現場には行っていないけれども研究活動を進めている方などにお話ししていただいて、わかばさん同士の交流も図ることができました。

事後アンケートでは、「大会に来たことがない友人・知人に勧めたい」という回答に対して全員に「はい」と答えていただき、おおむね好評だったことが見受けられます。また、コメントの中には「敷居の高い学会かと思ったが気軽に声をかけてもらった」という声もあり、参加者の皆さんには大会での時間が充実したものになるためのステップをご提供できたのではと思います。今後もわかばさんたちにリラックスして大会にご参加いただけ、そしてわかばさん同士がつながる場の提供に尽力していきたいと思っています。本企画へのご理解・ご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

## 「ぶらさ da わかば」第2日目 12:30-13:30

担当：大平幸・家根橋伸子・三代純平・櫻井千穂

「わかば」の頃、日本語教育の世界で自分の先を歩いているセンパイと交流する機会を持てれば、ちょっとしたヒントをもらったり、悩みや疑問を相談したりすることができるかもしれません。そんな「わかば」な人にセンパイとの対話の機会を提供する「ぶらさ da わかば」第10回目は、前回に引き続き、オンラインでの開催となりました。

センパイ登録をしてくださっている会員のうち、7名の方にセンパイとしてご協力をいただき、応募された9名のわかばさんとの対話セッションを実施しました。ZOOMのブレイクアウトルーム機能を利用し、センパイ毎の7つのブレイクアウトルームにはチャレンジ支援委員各1名が常駐、同時にメインルームにも委員が待機し、LINEのチャットグループを利用することで問題発生に対応する体制を取りました。



結果として、幸運なことに今回は通信環境の不具合等もなく、スムーズな運営ができました。空間的・時間的制約を超えてつながれるというオンラインのメリットが、最大限に活かされた企画となったと思います。事後アンケートでは、ご参加いただいたわかばさん・センパイ双方から高評価をいただきました。特に、わかばさんからは「研究をどう進めたらよいか大きなヒントを頂いた」、「今後のキャリアについて、今日のような相談できる場が本当にありがたかった」などの声が寄せられました。

課題としては、広報の観点から、より多くのわかばさんに本企画の開催を伝える必要性が挙げられそうです。参加された方は一様に高い満足度を示しておられますが、本企画に参加を希望されるわかばさんは非会員の方も多く、オンライン開催の場合は特に、対象となる層に開催の情報が行き渡りにくい点が指摘されました。実際に、知人からの紹介により本企画をはじめて知ったというわかばさんが多くおられました。

社会においても日本語教育の重要性が増す中で、人とのつながり、分野におけるコミュニティの構築が益々求められています。センパイのお一人もアンケートに書いておられたように、「今日のわかばさんは、明日のセンパイ！」といった持続可能な運営を行っていくことで、日本語教育分野の活性化に貢献できればと思います。引き続き、本企画へのご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

※ ただいま 2021 年度秋季大会以降に本企画にご協力くださるセンパイを募集中です。一人でも多くの会員のみなさまのセンパイとしてのご登録をお待ちしております。(6/20 締切、以下 URL 参照)

<http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/05/20210620senpai.pdf>

## 総括

担当：嶋津百代

今年度の春季大会もオンライン開催となり、「わかばさんいらっしやい」と「ぷらさ da わかば」は、わかばさんやセンパイとともに過ごす時間を最高なものにするために周到な準備を行ってきました。今大会でも、参加して下さったわかばさんやセンパイの笑顔を見て、わかばさんを支援する喜びと、チャレンジ人(びと)であり続けることの大切さを実感しました。次回秋季大会もオンライン開催予定です。チャレンジ支援委員会は、多くのわかばさんの参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上